

対面授業の 一部再開 にあたって

国際関係学部のみなさんへ



はじめに



- 学生みなさんの協力のおかげで、本学部も前期授業のオンライン化（遠隔授業化）ができました。
- レポートの量が多くて苦労した学生も多いと思います。しかし、これが本来の大学の姿です（1時間の授業に対し、2時間の予復習が求められている）。半期でこれだけのレポート量をこなしたのであれば、**大きな力がついたと言える**でしょう。
- 一方で、**対面授業の良さが再認識**されてきております。
- 本学部の考え方を皆様にお伝えし、みなさまのご理解をお願いしたいと思います。

背景

- 教員は、オンライン授業ツールによるメリットや良さを発見しました。一方で、演習や語学等においては、**オンラインによる非言語コミュニケーション面での限界**を感じました。
- また、社会全体が感染症対策をしながら活動を進めており、大学生だけが孤独に家にこもることによる**精神的負担等のケアも必要**になってきています。
- このような状況の中、オンライン授業の良さを活用しつつ、**学生の学びの成果を最大**にしていきたいと考えております。



一部の授業を対面で実施

- 本学部では、**対面授業の方がオンラインよりも教育効果が高い**と思われる一部の授業を対面で実施します。

(例)

- 1年生のチュートリアルや語学の一部
- 基幹演習（2年生）、専門演習（3年生）、卒論演習（4年生）
- 一部の講義科目（教室の収容人数に余裕があるもの）



感染症対策は大丈夫？

- 以下のような感染症対策を講じます。

- 体温確認（次ページ）
- 出席確認（次ページ）
- 手洗いと消毒
- 教室の換気
- 教室収容人数の1/3
- マスクの着用
- 1m以上の距離
- フェイスシールドの着用
（一部授業）



発熱、倦怠感、風邪のような症状がある場合には登校を控えます。

国際関係学部トラッキングシステム

- **学部独自に出席と体調を管理するシステム**を用意しています。授業に出席した際に、教員から提示されるQRコードにアクセスして記入します。
- **埼玉県のLINEコロナお知らせシステム**や厚生労働省の**COCOA**の併用もおススメしています。（アプリから接触可能性の連絡が来た場合は登校を控え、保健所に連絡します。）



埼玉県LINEコロナ お知らせシステム

登録した施設・イベントに感染者がいたことがわかったとき、埼玉県から注意喚起のメッセージが届きます。



B9226-010H

登録は
こちら

施設名 大東文化大学国際関係学部

▲ 訪問するたびに読み取ってください。

お知らせ登録方法

スマートフォン等でQRコードを読み取る

- 1 LINEアプリ「ホーム」画面右上の
 ボタン（友達追加ボタン）を押す
- 2 「友だち追加」画面の
 ボタン（QRコードボタン）を押す

感染者が発生した時

必要に応じて対象者にお知らせのメッセージを配信します。



【お知らせ】

新型コロナウイルスの感染が判明した方が、あなたが登録した施設を利用または、イベントに参加していました。

※ メッセージはイメージです

※ 感染者が発生し、保健所が不特定の方への感染のおそれが高いと判断した場合にメッセージが届きます。
※ QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です。



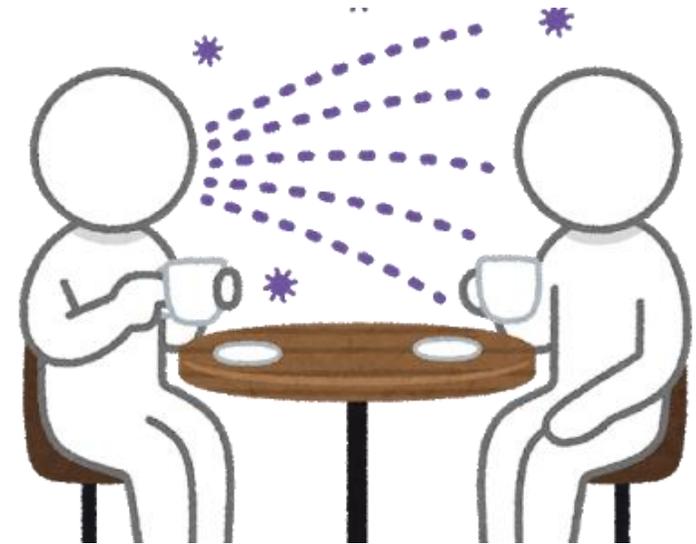
万が一・・・

A) 学外で感染者が見つかり、学内に入構していない場合

→そのまま対面授業を続けます。

B) キャンパス内で感染者が発生した場合

→**本学部学生・教職員の安全を最優先**し、感染症拡大を防ぐため、大学・保健所の指示に従います。指示によっては、学部内の対面授業はオンラインのみになる可能性があります。



オンライン授業と併用



- 登校は強制ではありません。通学・登校に不安を持つ場合、実家や母国に帰省（帰国）していて上京が難しい場合は、**オンライン授業を続けることができます**。最初の授業の時に担当教員にお伝えください。
- 登校できなくても、オンラインで授業が続けられるように、教材、動画や音声、課題等が準備されます。
- 対面授業も、必ずしも毎週ではなく、月1回や隔週程度など無理のないようすすめていきます。

対面授業を受けるにあたって

- みなさんだけでなく、教員も感染症の拡大に不安をもっています。
- 学内のみならず学外においても、大人数の会食を控えたり、人が密集するイベント・場所を避けるなど、常に、密集、密接、密室を避ける**新しい生活習慣を確立**しましょう。
- オンラインにはない教育効果を最大限生かせるよう、対面授業を活用していただきたいと思います。

おわりに（保護者のみなさま）

- 対面授業再開にあたっては、反対と賛成の声が届いております。
- Withコロナの時代で、遠隔授業と同時に対面授業の機会も確保することによって、本学部では**学生の学ぶ機会をさらに拡大し、教育効果を高めたい**と考えています。
- 本学部の感染症対策にご理解の上、ご子息ご息女の登校にご理解とご協力をいただければ大変うれしく思います。

国際関係学部 教務委員会